

「1,883.25時間の効率的な使い方」のために～業務量の可視化～（福島県郡山市）

取組概要

・全庁各所属の業務量(各業務の割合)を可視化する。

【業務区分】

- ①所属マネジメント
- ②全庁共通業務 22項目(庶務事務等の全庁で共通する業務)
- ③各課固有業務 (施策を推進するための事務事業)

人口 335,996人(H28.7.1)

担当 総務部行政マネジメント課

取組の効果

- ・業務量を増大させている原因を把握した。
- ・効率的、効果的なBPRをするための現況を把握した。
- ・事務事業毎の人件費を把握した。
- ・物件費ゼロ円で実施

創意・工夫した点

- ・全職員の業務量を把握
- ・非効率な個人が明らかにならないように配慮した。
- ・マクロ機能の有効活用
- ・人員数を求めることを目的としない

他団体へのアドバイス

- ・業務量の可視化は効率的なBPRを実施する上で必要
- ・超過勤務削減、ワークライフバランスの推進には、業務量を可視化し、ムダ等の削減が必要
- ・比率按分方式でも傾向がとれる。



業務カイゼン現況把握調査前



業務カイゼン現況把握調査後